
俺の肉棒がこんなに大きいわけがない

砂の国から来たギャラリオン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺の肉棒がこんなに大きいわけがない

【Nコード】

N39470

【作者名】

砂の国から来たギャラリオン

【あらすじ】

生まれつき、真性包茎、勃起不全症（つまりインポ野郎）を患っている高校生がいた。
そいつの名前は^{サツキ}皇月 ^{マシセックス}真性。

ある日、真性のペニスが少しずつ大きくなっていることを実感していく。それは果たして本当なのか。キャルルリオな嘘なのか。

物語は始まる。

第1章 俺の肉棒が小さくないわけがない

・・・

デユクシ W
デユクシ W

ガチャッ

「ほら！真性！起きなさい！」

デユクシ W

母の声で眠い目をこすりながら、
俺は懸賞で当てた『Ma1uk特製ガチキチ目覚まし』の上部を叩いた。

ドストスガチャガチャ！

「おおっ！？」

目を開けると、『Ma1uk特製ガチキチ（ry』が床に落ちて割れていた。

「…！」

ちよま W
W
ガチキチめざましがうえええええ W W W W W W W W W W W W W W W W
W W W h やー W

落ち着け俺。

たかが懸賞で当てたものじゃないか。

「・・・ふう」

しばらくして冷静になった俺は、ズボンとパンツを引き下ろす。

「・・・はあ。。」

こんなため息をつくのも毎日の日課である。趣味ではない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3947o/>

俺の肉棒がこんなに大きいわけがない

2010年10月19日03時42分発行